（表）

様式第１号（第６条関係）

地域避難施設認定（変更認定）申請書

　　　年　　　月　　　日

中津川市長　　様

　次の集会施設等について地域避難施設の認定（変更認定）を受けたいので、中津川市地域避難施設認定要綱第６条の規定により申請します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請団体 | 団体名 |  | | | |
| 代表者氏名（役職） | （　　　　　　　） | | | |
| 代表者住所 | 〒  中津川市 | | | |
| 日中連絡の取れる  連絡先 | 電話番号 | | |  |
| メールアドレス | | |  |
| 連名申請団体(\*1) | □ | あり　※【別紙１】を添付すること。 | | |
| 集会施設等 | 建物名称 |  | | | |
| 建物所在地 | 中津川市 | | | |
| 所有者 | □ | | 申請団体と同じ。 | |
| □ | | 申請団体と異なる。 ※【同意書の写し】を添付すること。 | |
| □ | | 共有名義である。 ※【同意書の写し】を添付すること。 | |
| 避難者利用面積(\*2) | （㎡） | | | |
| 収容可能人数(\*3) | （人） | | | |
| 担当者(\*4)  □申請団体  　に同じ。  （右欄記入不要） | 氏　名 |  | | | |
| 住　所 | 〒  中津川市 | | | |
| 日中連絡の取れる  連絡先 | 電話番号 | | |  |
| メールアドレス | | |  |
| （災害時等の物資の引き受け場所）  最寄りの指定避難所 | | （拠点避難所）  （その他の指定避難所） | | | |

※ 「地域避難施設認定申請時チェックリスト」（裏面）を記入の上、必要な添付書類を添えて申請してください。

＊１　連名申請の場合、代表となる団体の情報を申請団体欄に記入してください。

＊２　避難者利用面積は、避難者の滞在に供する主たる場所の床面積を記入してください。

概ねの数値でも構いません。

＊３　収容可能人数は、「避難者利用面積(㎡)÷３．３」を超えない人数を記入してください。

＊４　担当者欄を記入した場合、災害時等は、担当者宛に連絡します。

（平常時は、代表者宛に連絡します。）

（裏）

地域避難施設認定申請時チェックリスト

チェック☑↓

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 避難対象とする区・自治会・町内会名を記載（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | □ |
| 連名で申請する場合 | | | |
|  | 当該集会施設等を地域避難施設として共同で開設・運営することに申請団体間で合意しているか。また、開設・運営を行う手順等の話し合いが終わっているか。 | | □ |
|  | 別紙１「連名申請団体一覧」を添付しているか。 | | □ |
| 集会施設等について | | | |
|  | 申請する施設の「位置図」（任意様式）を添付しているか。 | | □ |
|  | 避難者の滞在に供する主たる場所の床面積が33㎡以上確保されているか。 | | □ |
|  | 避難者を受け入れ、かつ、避難者が一定期間の生活を行うために必要な最低限の資機材を施設又はその敷地内に保有し、又は保有する見込みがあるか。また、「資機材の一覧」（任意様式）を添付しているか。  例）受　付：受付用簡単テント、非接触型体温計、車椅子  　　　電　源：発電機、携行缶、コードリール、投光機  　　　寝具類：パーテーション（間仕切り）、簡易ベッド、寝袋、エアーマット  その他：拡声器、段ボールトイレ | | □ |
|  | ・他の者に使用を許された集会施設等である場合に、その所有者の同意を得ているか。また、「土地・建物の所有者が分かる書類」（任意様式）、別紙２「同意書」の写しを添付しているか。  ・共有名義の集会施設等である場合に、他の名義人の同意を得ているか。また、別紙２「同意書」の写しを添付しているか。  ※使用に関する契約を締結しており、改めて同意を得る必要がない場合は、契約書等の写しでもよい。 | | □ |
| 新耐震基準（昭和56年6月1日以降）に基づき建築又は改修が行われた建物であることの確認 | | | |
|  | 建築確認通知書、耐震基準適合証明書、建築台帳記載事項証明書等の写しを添付しているか。 | | □ |
| ハザードマップを使った施設周辺の災害リスクの確認 | | | |
|  | 施設が「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」に該当しない。 | | □ |
|  | ①施設が、洪水・ため池による「浸水想定区域」に該当しない。 | | □ |
|  | 上記①による浸水の災害リスクはあるが、他に施設がなく止むを得ず申請する場合 | |  |
|  |  | 浸水に対して安全な構造を有しているか。 | □ |
|  |  | 想定水位以上の高さに避難者の利用に供する部分があり、かつ、当該部分までの有効な避難経路が確保されているか。 | □ |
| 運用体制の確認 | | | |
|  | 開設・運営マニュアルを整備しており、当該「マニュアル」の写しを添付しているか。  また、そのマニュアルに最寄りの指定避難所での物資の引き受け、市への報告体制が記載されているか。 | | □ |
|  | 施設内・敷地内へ入るための鍵の管理者がマニュアル等に明記され、災害時等に複数の者で開錠できる体制が整っているか。 | | □ |